

【報告事項 2】

令和3年度中学校トップスポーツ競技育成事業
選考結果について

体育学校安全課

令和3年度中学校トップスポーツ競技育成事業
選考結果について

体育学校安全課

1 事業の概要

(1) 目的

本事業は、中学校の全国大会等で活躍できる競技者を育成するため、徳島県中学校体育連盟に加盟する実績のある競技専門部を指定し、競技力の向上を図ることを目的とする。

また、高校の「NEO徳島トップスポーツ校強化事業」と連携し、中学校での強化活動を高校へつなげることで、本県の競技力の向上を中・長期的な展望に立って、計画的・継続的に推進する。

(2) 選考委員会

- ①期 日 令和3年5月25日(火) オンライン
- ②選考委員 中体連、高体連、女体連、スポーツ協会、県教委 各代表12名
- ③申請専門部 陸上競技、新体操、弓道、柔道、バスケットボール
- ④評価の観点 競技実績、強化計画及び競技団体との連携体制等を総合的に評価

2 選考結果

陸上競技、新体操、弓道、柔道、バスケットボールの5競技を
中学校トップスポーツ競技に指定〔※実績(全国)は、過去4ヵ年(H29~R2年度)を記載〕

競技専門部	指 定 理 由
陸上競技	<p>県協会と連携し組織的な選手強化を実施し、全国で戦える選手を育成している。昨年度は、JOCカップ全国中学生陸上競技大会 男子走幅跳において優勝者を輩出した。指導者の資質向上により、競技者の能力を最大限に高める取組等もあり、中長期的な展望で選手の育成を図っている。</p> <p>・実績[全国] [H30] 女子砲丸投げ4位 男子走幅跳5位 男子100m 8位 男子U-16 60m 5位 [R元] 女子砲丸投げ2位 男子110mH 7位 [R2] 男子走幅跳優勝2回, 6位 女子200m 8位</p> <p>・主な進学先 鳴門渦潮高校 鳴門高校 城南高校</p>
新体操	<p>過去には、団体優勝・準優勝・4位と10年以上にわたり、全国大会で好成績を残している。ジュニアから育成した選手が高校へとつながる道筋が根付いている。その結果、日本代表候補として強化選手に選出されるなど、国際舞台への活躍が期待される選手が複数育っている。</p> <p>・実績[全国] [H29] 団体9位 [R元] 団体12位</p> <p>・主な進学先 富岡西高校</p>

競技専門部	指 定 理 由
弓 道	<p>一昨年度は、全国大会で男子個人優勝、女子8位の好成績を残し、過去5年間でも個人入賞、団体ベスト16を逃していない。インターハイ・国体で活躍する選手の育成を視野に入れた中・高の連携ができており、県連盟からのバックアップ体制も整っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績[全国] [H29]女子団体優勝 女子個人2位 [H30]女子団体3位 女子個人4位 男子団体ベスト16 [R元]男子個人優勝 女子個人8位 ・主な進学先 徳島市立高校、徳島科学技術高校、鳴門渦潮高校
柔 道	<p>毎年、全国大会で活躍する選手育成ができており、全中大会での上位入賞を継続している実績がある。強化選手を指定し、少年部や高体連、県連盟との連携を図っている。また、数年にわたり遠征や合宿を定期的・継続的に実施する強化計画・支援体制が整っており、加盟生徒数も増加傾向にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績[全国] [H29] 女子57kg級5位 女子団体ベスト16 男子個人90kg級ベスト16 [H30] 女子70kg級3位 女子団体ベスト16 男子個人90kg級ベスト16 [R元] 女子48kg級3位 男子団体ベスト16 男子個人90kg級ベスト16 男子個人60kg級ベスト16 女子個人44kg級ベスト16 ・主な進学先 阿波高校、鳴門渦潮高校
バスケット ボール	<p>低迷気味の団体競技が多いなか、ここ6年で、全中大会と選抜チームの都道府県対抗大会で、ベスト4・1回、ベスト8・2回、ベスト16・6回という好成績を残している。県協会による強化練習会では、他のカテゴリーとの連携による強化活動が継続的に行われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績[全国] [H29]男子県選抜ベスト4 男子ベスト8 [H30]男子ベスト16 [R元]女子ベスト16 [R2]女子ベスト16 ・主な進学先 男子 海部高校、城東高校 女子 富岡東高校、城北高校